

第5回（通算56回目）佐久市都市計画審議会 会議記録（要約）

日 時：令和6年2月8日（木）

14時00分から

場 所：佐久消防署3階 講堂

【審議会】

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 議事録署名委員の指名

(2) 事務報告

①傍聴者報告

②前回（第4回）議案の処理状況等報告

(3) 議案調査

第一号議案 佐久都市計画道路の変更（案）について（野沢地区・中込地区）

《事務局より説明後、質疑応答》

（委員）

中込地区に関して、旧八十二銀行の道路幅員が18mから4mに狭まるようになるかと思うんですけども、前回のご説明では特に問題ない、とのご説明はいただいたんですが、容積率等の関係の計算式が違ってくるかと思imasるので、こういう計算のもと問題ないというご提示をいただきたい。

（事務局）

旧八十二銀行の容積率につきましては、間口が角地に当たっており、市道と接しておりますことからそちらの幅員を採用いたしますので、計算式はございますけれども現在の状況で問題はない、ということになっております。

（委員）

もう一つの道の方で査定するので問題ない、ということですか。

（事務局）

そのとおりです。

（会長）

ほかにご意見ご質問等ありますか。それでは、ご意見もありませんので、第一号議案「佐久都市計画道路の変更（案）について（野沢地区・中込地区）」、佐久市都市計画審議会条例第5条第3項の規定に基づきまして、採決いたします。計画案に賛成の委員の挙手を求めます。

《 全委員挙手 》

(会長)

全会一致でございますので、計画案どおり進めるよう、議決させていただきます。

第二号議案 佐久都市計画土地区画整理事業の変更（案）について

《事務局より説明後、質疑応答》

(会長)

ご意見ご質問等ありましたらお願いします。ご意見もないようですので、第二号議案「佐久都市計画土地区画整理事業の変更（案）について」、佐久市都市計画審議会条例第5条第3項の規定に基づきまして、採決いたします。計画案に賛成の委員の挙手を求めます。

《 全委員挙手 》

(会長)

全会一致でございますので、計画案どおり進めるよう、議決させていただきます。

(4) 議案調査

①都市再生整備計画（佐久平駅南地区）事後評価について

《事務局より説明後、質疑応答》

(委員)

3点ありまして、55ページの一番最下段、今後の方針の中で、佐久平駅の停車本数確保に努めていくと。今後、住宅や商業施設の建設が進むことで利用者が増えていくことにより停車本数が増えていくと思えますけれども、具体的にどのぐらいの人数増えたり定期券が購入されたりと、どのぐらいの人数になったら停車本数がどのぐらい増えるのか、そういった目標がJRに言われるなどして決まっているのでしょうか。そうしないと、停車本数が増えるのかもわからないと思えます。また、57ページの佐久平駅蓼科口線の歩行者・自転車通行量ですが、通行量に関しては記載がありますけれども、学生なのか主婦なのか高齢者の方なのか、こういった方かということがやり方も違ってくるのかなと思えます。そういったところの調査はされているのでしょうか。最後に、61ページの佐久平サンスクエアでは昨年10月までに20回イベント開催されたということですが、どのぐらいの人数の方が実際来場されたのか、といったことはお分かりになりますでしょうか。

(事務所)

佐久平駅の乗客数につきまして、目標値を設定した時点でございますが、平成28年から32年まで4年間において、乗客数の増加率が1%ほど伸びていた状況が過去にございました。この

事業によって停車本数が増える前提で定めた目標値ではございませんが、平成32年から2%ぐらいずつ増えるということ、この事業による波及効果の目標値として、設定したところでございます。実際はコロナ禍の影響などにより目標達成できなかったという状況でございますが、これにつきましては先ほどの説明のとおりフォローアップしていきたいと考えております。続いて、指標3の歩行者数でございますが、実際どのような方が歩いてきたかは計測時に区分しておりませんでした。実際に計測した際の感覚としましては、朝夕、中学生や高校生が通学で通っていましたが、それはわずかという印象でした。多かったと感じたのは、社会人の方で駅方面からイオン方面に抜ける方でした。このほか、イオンから市民交流ひろばに行き来する親子連れの方が多く印象でした。佐久平駅南土地地区画整理事業地が整備されたことによって、どういった方を増やすのかという目標やターゲットは具体的には定めていなく、佐久の中心地でありますので、多様な方が行き来していただくための目標値として設定をしていたところでございます。

続いて、佐久平サンスクエアのイベントの関係ですが、4月から10月まで様々なイベントをしております。例として、4月にはワークショップやマルシェを行うスプリングマーケットを開催しました。こちらは1日で350名程度が入場されました。5月にはバルーンフェスティバルの前夜祭を行っております。これは、市の観光課が主催しております。6月には丸ごとつながるフェスタを佐久平サンスクエアの指定管理者が共催で行っております。こちらは、2日間で1,000人以上の利用者がございました。

このほか、佐久平サンスクエア特有のイベントとして、6月と9月にパン祭りを行いました。こちらはかなり好評でして、6月は1,500人程度、9月は1,700人程度の来場者がいらっしゃいました。10月にはハーフマラソンの開催もあり、指定管理者の計測では2,700人程度の来場があったとのことでした。このような形で、大小計20件のイベントを開催してきました。

(委員)

歩行者・自転車の調査は大変かと思えますけれども、きめ細かい調査をすることによって、より良い方向へ進んでいけばと思えます。よろしく願いいたします。

(委員)

先ほどの質問と関連するのですが、歩きたくなるまちということに対して、例えば車で行くことが前提になっている親子連れとか、荷物が重い、歩きにくいと感じる方に対しての補助的なものはあったのでしょうか。イベントの際にシャトルバスがあるとか、JRとの連携などで臨時列車を出したりとか。そして、そういったことをチラシなどに掲載したかをお伺いいたします。

(事務局)

今回の評価では、個別の開催イベントですとか、利用者の方がどのような方法でいらしたかについては調査しておりませんので、具体的なところはわかりかねるところがあります。イベント開催時には場所の特性がありますので、今回のイベントでバスがあったものがあるかまでは把握しておりませんが、チラシやホームページなどによる周知をする中でイベントの内容に応じた周知をしていただいております。多くの方は隣接する市民交流ひろばの駐車場であったり、近隣の商業施設に行きながらこちらの方へもいらしていただいていたかと思えます。

(委員)

私もこのイベントに行こうと思いましたが、駐車場を探すことがすごく大変だと考えてしまった。この考え自体が、歩きたくなるまちづくりを目指しているところとのギャップを感じてしまったので、もう少し市民側へ呼びかけて協力いただくことも大事ななと思いました。あと、バルーンフェスティバルについては、合同庁舎からの臨時シャトルバスなどをされているかと思うので、観光課などと連携ができればいいと思いました。

(事務局)

この調査の中では、こういったことをやらないといけない、というものを示したわけではなく、これから様々な取り組みですとかイベント、計画も含め、こういったことを頭に入れながら計画してください、あるいは実施してください、という目標みたいなものを掲げておりますので、また参考にさせていただきたいと考えております。

(委員)

官民連携ということなので、様々なイベントが単年で実施されるのか、賑わいを作るために、毎年この時期にはこういうイベントが開催されるという、単年度ごとじゃないイベントの計画はあるのでしょうか。

(事務局)

ハーフマラソンは来年も実施の方向ではありますが、そのほかのイベント等については、まだ毎年やるという方向には至っておりません。例えば、周辺の商業施設の方と広場の指定管理者などが連携しながらイベントを毎年計画していけば、それが最終的に毎年やっていくことにつながる可能性は十分あるかと思えます。

(委員)

今後、そこにこの時期行けば楽しめる、というイベントの企画ができれば、官民一体で賑わいできていくと思いますので、ぜひそういった企画をお願いします。

(委員)

(令和6年)1月1日に地震が発生してからのことですが、地震など災害があった場合について、まちづくりの中で避難所などについてどういったお考えがあるのかお聞きしたい。

(事務局)

今回、この事業の中では、残念ながら防災拠点ですとか、防災のための施設整備ということは掲げておりませんでした。従いまして、現時点では災害に特化したような施設整備はしておりません。

ただし、公園の四阿にソーラーパネルと蓄電池を設置し、非常時に充電が可能となるよう整備しました。ただ、今回整備した公園や広場が避難所などに使用できるかという点については、関係課との協議が必要となります。

(5) その他

4 閉 会